2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月16日

上場会社名　　シリウスビジョン株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　6276　　ＵＲＬ　https://siriusvision.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役　　（氏名）辻谷　潤一
問合せ先責任者　（役職名）取締役管理本部担当　　（氏名）鬼澤　裕彦　　ＴＥＬ　045-595-9288

配当支払開始予定日　　－
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	1,396	△0.9	148	－	159	－	535	－
2025年12月期第３四半期	1,409	△18.5	△151	－	△151	－	△613	－

（注）包括利益　2026年12月期第３四半期　491百万円　（－%）　2025年12月期第３四半期 △596百万円　（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	114.83	－
2025年12月期第３四半期	△132.08	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	2,592	2,199	84.8
2025年12月期	2,576	1,784	66.2

（参考）自己資本　　2026年12月期第３四半期　　2,198百万円　　2025年12月期　　1,706百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	－	0.00	－	0.00	0.00
2026年12月期	－	0.00	－		
2026年12月期（予想）				－	－

（注）１．直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
　　２．2026年12月期の配当予想額は、未定であります。

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,870	△9.4	150	－	150	－	520	－	111.71

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

除外 1社 （社名）株式会社ウェブインパクト

（注）詳細は、添付資料８ページ「２．四半期連結財務諸表及び主な注記（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更に関する注記）」をご覧ください。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料８ページ「２．四半期連結財務諸表及び主な注記（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
② ①以外の会計方針の変更　：無
③ 会計上の見積りの変更　：無
④ 修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	5,722,500株	2025年12月期	5,722,500株
② 期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	1,058,722株	2025年12月期	1,076,812株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	4,659,887株	2025年12月期３Ｑ	4,643,429株

（注）期末自己株式数には、「株式給付信託（J-ESOP）」の信託財産として株式会社日本カストディ銀行（信託Ｅ口）が保有する当社株式（2025年12月期170,900株、2026年12月期３Ｑ152,800株）が含まれております。また、株式会社日本カストディ銀行（信託Ｅ口）が保有する当社株式を、期中平均株式数の算定において控除する自己株式に含めております（2025年12月期３Ｑ173,159株、2026年12月期３Ｑ156,701株）。

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１.経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更に関する注記） …… 8
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 8

１．経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当第３四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

（１）当四半期の経営成績の概況

当第３四半期連結累計期間（2026年１月１日から2026年９月30日まで）における世界経済は、一部の地域に弱さがみられるものの、緩やかな持ち直しが続きました。一方、中東情勢をはじめとする地政学リスク等により、先行きの不透明感が続きました。米国では個人消費や設備投資の増加を背景に景気は緩やかな拡大を続けたものの、雇用者数の増勢に鈍化がみられました。欧州ではユーロ圏の景気に持ち直しの動きがみられた一方、設備投資はおおむね横ばいで推移しました。中国では不動産市場の停滞や消費の弱さに加え、固定資産投資の減少もみられ、景気は緩やかに減速しました。日本経済は雇用・所得環境の改善や設備投資の持ち直しを背景に緩やかな回復基調が続きましたが、物価上昇や中東情勢等の影響に留意を要する状況となりました。先行きについては、地政学リスクや金融資本市場の変動等が国内外の経済に及ぼす影響を注視する必要があり、引き続き不透明な状況が続くものと見込まれます。

前連結会計年度から実行してきた事業再建計画「Sirius Restructuring Plan(SRP)」による事業構造及びコスト構造の改革効果は、当第３四半期連結累計期間においても継続して発現しました。国内画像検査事業では、開発・販売・企画・管理・サポートが一体となった営業・開発体制のもと、顧客の検査ニーズに応じた提案活動及び業務効率の向上に取り組みました。

顧客の設備投資判断には引き続き慎重な姿勢がみられたものの、既存顧客の検査機の更新需要を取り込むとともに、開発・技術・営業メンバーが連携した提案営業を通じて、顧客の個別仕様に対応した大型案件の獲得及び納入を進めました。

主力市場であるラベル印刷検査市場では、ラベル検査機の販売が前年同期を大幅に上回り、大型案件の売上計上も加わったことから、国内画像検査事業の増収及び売上総利益の増加を牽引しました。また、成形品検査市場及びグラビアフィルム印刷検査市場では、前年同期の大型案件の反動等により売上が減少したものの、案件構成の変化により売上総利益は前年同期を上回りました。加えて、保守サービスの売上も堅調に推移しました。

これらの結果、当社の国内画像検査事業の売上が前年同期比で約8.9%増加しました。売上の増加及び案件構成の変化等により売上総利益も前年同期を上回るとともに、SRPによるコスト構造の改革効果が寄与し、営業黒字を確保しました。

当社画像検査事業をAI(人工知能)とDX(デジタルトランスフォーメーション)、クラウドサービスで支える株式会社UniARTSは、引き続きAIを主軸にした製品開発・販売に注力してまいりました。特に、重さ10kgの小型卓上検査機「S-Comet(エスコメット)」に新製品の生成AI型検査用ソフトウエア「RegulusVision(レグルスビジョン)」のテスト評価版を搭載し、電子基板製造メーカー複数社に貸し出しを開始しました。現場での試用評価を通して得られた顧客からのご意見・要望などのフィードバックに基づいて本ソフトウエアを改善・完成させ、2027年初頭の正式リリースを目指しています。

海外市場は、引続き中国経済悪化による不況の長期化の影響を受けてはおりますが、上述の事業再建計画(SRP)の効果が継続しております。

中国画像検査事業(希瑞斯(上海)視覚科技有限公司)は、中国国内の景気低迷の影響等により事業環境は引き続き厳しい状況で推移しましたが、事業再建計画(SRP)の一環で実施した人員適正化と拠点運営の見直し等の固定費削減施策による収益性改善が続いております。

また、中国機械メーカーとの連携強化による中国市場への営業活動に加え、利益率の高い当社画像検査ソフトウエア販売に集中する事業戦略が奏功し、収益性の改善が進みました。

今後につきましては、協業中の中国機械メーカーとの連携を一層強化するとともに、中国市場だけではなく、ASEANや欧米にも拡販している大手中国メーカーと協業し、世界市場への販路の拡大を図ってまいります。さらに、電子基板製造の市場規模が最も大きい、中国における電子基板検査機の販売展開の検討も進めております。すなわち、電子基板関連装置や自動化システムを開発している中国大手メーカーとの協業を通じ、当社の新製品である電子基板検査機「S-Comet」と画像検査ソフトウエア「RegulusVision」の中国市場への拡販を計画しています。

ASEAN画像検査事業(SiriusVision(THAILAND) Co., Ltd.およびSiriusVision VIETNAM Co., Ltd.)におきましても、事業再建計画(SRP)の一環で実施した固定費削減策と運営効率化により、収益性改善が続いております。日本、中国、ASEANの３地域によるワンチーム体制のもと、中国メーカーとの営業・技術連携や中国製検査機械の積極的活用、地域間の技術交流を通じて、提案力の強化と効率的な事業運営をさらに進めてまいります。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間における当社グループの経営成績につきまして、売上高は13億96百万円（前年同期比0.9％減）、営業利益は１億48百万円（前年同期は１億51百万円の損失）、経常利益は１億59百万円（前年同期は１億51百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は５億35百万円（前年同期は６億13百万円の損失）となりました。

（２）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第３四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して16百万円増加し、25億92百万円となりました。これは主として、現金及び預金が１億35百万円、受取手形及び売掛金が41百万円増加したものの、投資有価証券が70百万円、仕掛品が73百万円、原材料及び貯蔵品が29百万円減少したことによるものであります。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して３億98百万円減少し、３億92百万円となりました。これは主として、１年内返済予定の長期借入金が10百万円増加したものの、短期借入金が２億円、支払手形及び買掛金が56百万円、契約負債が38百万円、賞与引当金が10百万円、株式給付引当金が17百万円、流動負債のその他が64百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して４億14百万円増加し、21億99百万円となりました。これは主として、資本剰余金が２億38百万円、その他有価証券評価差額金が45百万円、非支配株主持分が77百万円減少したものの、利益剰余金が７億73百万円増加したことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は、前連結会計年度末と比較して18.6ポイント増加し、84.8％となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の通期の連結業績予想につきましては、2026年５月15日に公表いたしました業績予想から変更はありません。今後、業績予想の修正が必要と判断した場合には、速やかに公表いたします。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,086,943	1,222,493
受取手形及び売掛金	270,907	312,231
電子記録債権	31,770	6,820
商品及び製品	84,980	65,412
仕掛品	326,214	252,929
原材料及び貯蔵品	234,299	204,754
その他	52,516	87,886
貸倒引当金	△725	△1,044
流動資産合計	2,086,906	2,151,483
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	376	60
機械装置及び運搬具（純額）	648	583
その他（純額）	1,149	765
有形固定資産合計	2,174	1,409
無形固定資産		
のれん	36,363	－
ソフトウエア	46,373	94,566
ソフトウエア仮勘定	490	42,728
無形固定資産合計	83,227	137,294
投資その他の資産		
投資有価証券	331,762	261,095
その他	72,652	41,768
貸倒引当金	△691	△691
投資その他の資産合計	403,723	302,172
固定資産合計	489,125	440,876
資産合計	2,576,031	2,592,359

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	147,597	90,747
短期借入金	200,000	－
１年内返済予定の長期借入金	19,992	30,000
契約負債	109,957	71,591
リース債務	1,910	1,823
未払法人税等	4,762	2,001
未払消費税等	18,482	16,820
賞与引当金	10,390	－
その他	114,407	49,843
流動負債合計	627,501	262,826
固定負債		
長期借入金	50,020	50,014
リース債務	6,808	5,436
株式給付引当金	48,483	30,871
繰延税金負債	27,059	12,978
その他	31,571	30,655
固定負債合計	163,942	129,956
負債合計	791,443	392,782
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,951,442	1,713,435
利益剰余金	△152,378	620,756
自己株式	△356,618	△349,491
株主資本合計	1,542,444	2,084,700
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	80,704	35,621
為替換算調整勘定	83,264	78,098
その他の包括利益累計額合計	163,968	113,719
非支配株主持分	78,173	1,156
純資産合計	1,784,587	2,199,576
負債純資産合計	2,576,031	2,592,359

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上高	1,409,396	1,396,113
売上原価	697,100	697,678
売上総利益	712,295	698,434
販売費及び一般管理費	863,328	549,656
営業利益又は営業損失（△）	△151,032	148,778
営業外収益		
受取利息	930	3,246
受取配当金	6,836	3,665
為替差益	－	4,977
その他	785	2,557
営業外収益合計	8,553	14,447
営業外費用		
支払利息	1,480	3,310
為替差損	5,804	－
その他	1,258	5
営業外費用合計	8,544	3,315
経常利益又は経常損失（△）	△151,024	159,911
特別利益		
関係会社株式売却益	－	298,268
投資有価証券売却益	11,447	103,360
特別利益合計	11,447	401,629
特別損失		
減損損失	445,486	－
投資有価証券評価損	－	942
特別損失合計	445,486	942
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△585,063	560,598
法人税等	18,880	18,877
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△603,943	541,720
非支配株主に帰属する四半期純利益	9,348	6,626
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△613,291	535,093

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△603,943	541,720
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,334	△45,083
為替換算調整勘定	△5,748	△5,053
その他の包括利益合計	7,586	△50,137
四半期包括利益	△596,357	491,582
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△605,702	484,844
非支配株主に係る四半期包括利益	9,345	6,738

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更に関する注記）

第１四半期連結会計期間において、当社の連結子会社でありました株式会社ウェブインパクトの全保有株式の譲渡が完了したため、連結の範囲から除外しております。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日　至　2026年９月30日）
（税金費用の計算） 当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。 ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（セグメント情報等の注記）

当社グループの事業は、画像検査関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2026年３月24日開催の定時株主総会の決議に基づき、当第３四半期連結累計期間において、利益準備金136,639千円、その他資本剰余金238,007千円及び別途積立金330,000千円を減少し、その全額を繰越利益剰余金に振り替えることにより、欠損填補を行っております。

この結果、当第３四半期連結会計期間末において、資本剰余金1,713,435千円及び利益剰余金620,756千円となっております。なお、本件は純資産の部における勘定科目間の振替処理であり、当社の純資産額および発行済株式数の変動はなく、当社の業績に与える影響はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次の通りであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	57,382千円	23,908千円
のれんの償却額	6,417千円	2,139千円